

イワオモダカ

Pyrrrosia tricuspis (Sw.) Tagawa

ウラボシ科

石川県カテゴリー

絶滅危惧 I 類

国カテゴリー

該当なし

選定理由

生育地がごく稀で、個体数が少ない。(現況:R-)

形態

根茎は短く這い、葉は接近してつく。葉柄は葉身よりも長く、葉身は掌状に3~7裂する。子囊群は支脈の間に3~6列に並ぶ。

国内分布

北海道、本州、四国、九州。

県内分布

加賀中央区。

生態など

常緑性の着生植物である。耐乾性が強く葉は乾燥すると弱く巻き込む。やや好陰湿潤性、繁殖は根茎と孢子による。孢子は秋から冬にかけて熟し、風で散布する。

生育環境

山地帯の霧の多い河川の岩上、岩壁、樹幹上に生育する。

危険要因

河川開発、ダム建設、産地局限。



白井伸和・2008年4月2日・金沢市

分布図はありません。

県内の分布